

山形セレクション（農林水産分野）認定申請調書

- 農産物・林産物（特用林産物） -

申請者の概要

ふりがな	おいしいやまがたせいさんくみあい せれくしょんまいせいさんぶかい		
氏名又は名称	おいしい山形生産組合 セレクション米生産部会		
ふりがな	ぶかいちょう		
代表者の職・氏名	部会長		
住 所	〒990-850 山形市松波二丁目8番 号		
構成農家数	30戸	常時生産従事数 ¹	30人
T E L	(023)630-247	F A X	(023)630-309
担当者	所属：おいしい山形生産組合 職名：生産部次長 氏名：		
TEL	(023)630-247	E-mail	Makkey-nousei@x.x.jp
FAX	(023)630-309		

1：基幹的農業従事者（ふだんの主な状態が農業が主の者）の人数を記載してください。

申請品の概要

品目名	米	品種名	はえぬき、コシヒカリ	商品名		
直近の 生産実績 (17年度)	品目全体	生産量	354 t → 俵	販売金額	7,080万円	
	当該品種	生産量	325 t → 俵	販売金額	6,500万円	
生産出荷計画の概要 年度	栽培予定面積	品目全体	60ha	当該品種	55ha	
	当該品種の主な栽培地 ¹	山形市松波				
	出荷予定数量 及び品目全体の 販売見込金額	品目全体	360 t → 俵	8,685万円		
		当該品種	297 t → 俵	7,425万円		
	認定品	4 t → 俵	134万円			
	出荷予定期間	出荷期間：10月 下旬～ 月 旬				
	集出荷施設（場所）	おいしい山形生産組合松波倉庫				
乾燥調製・出荷形態 (右欄に を付けてください。)	【乾燥調製】 個人・共同乾燥調製施設 (CE・RC・MRC) その他 () 【出荷形態】 玄米 (30kg袋・フレコン)、精米 (kg袋) その他 ()					
主な出荷販売先	高屋					

1：市町村名地区名（小字名）まで記載してください。複数の栽培地がある場合は規模の大きい代表的な栽培地を記載してください。

山形基準に基づく認定申請品の生産・流通の取組み

1 高い品質 一切妥協のない優れた品質の商品・サービスの提供

(1) 高品質な商品の生産、商品の厳選と安定供給

食味・形状等、品目・品種の特徴を十分に発揮させる優れた生産技術による高品質な商品の生産と、出荷規格に基づく商品の厳選を行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>申請品の等級・階級等について、具体的に記載してください。</p>	<p>等級区分：1等 階級区分（使用網目）：1.95mm（GL）</p> <p>整粒歩合：85%以上 食味値：80以上</p> <p>外観、形状等の特徴 網目が1.95mmと通常より大きいことから、粒の大きさ、粒揃い、粒の充実是一般米に比べはるかに優れている。</p> <p>食味（食味値、食味分析結果、食味官能試験等）の特徴 充実の良い粒を選定していることから、食味に関係する玄米粗タンパク含有率は低く、かつ外観が優れていることから、食味官能も良好である。</p> <p>その他高い品質に係るアピールポイント ・千粒重や白度も高く、外観・食味は一般米に比べはるかに優れていることから、誰もが満足できるお米である。 ・県で作成した「気象変動に対応した特A米栽培ごよみ」に沿った栽培を実施している。</p>
<p>格付・検査の方法を記載してください。</p>	<p>【等級検査】</p> <p>格付・検査員の有無 有（人数 2人）・無</p> <p>格付・検査代表者</p> <p>所属：おいしい山形生産組合 役職：米係長 氏名：太田英輝</p> <p>格付・検査の方法（流れ）、留意している事項 目標となる整粒歩合が85%と高いことから、検査が始まる前に農政事務所の協力を得ながら、「セレクション見本品」を作成し、部会員の目揃いを実施する。</p> <p>【食味分析】</p> <p>食味分析機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の組織で実施 ・農業技術普及課で実施（普及課名 村山） ・農業研究センターで実施（場所名 ） <p>分析の方法（分析の流れ）、留意している事項 1回の乾燥単位でサンプルを収集し、食味値（80以上）によりセレクション候補品と一般米に仕分けを行ったのち、農産物検査を受検する。</p>

県内外で認知性・周知性を有する品目・品種で、品質及び生産量において安定した供給が可能であること

項 目	申請者記載欄
<p>生産拡大や安定出荷、安定した品質の維持・向上に向けた取組み状況を記載してください。</p>	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。 記載がない場合は取組がないものとして審査いたします。</p> <p>生産計画検討会・座談会の開催（開催月・回数） 3月28日 高品位米生産研修会の開催 高品位米栽培技術の研修と、組織として高品位米生産に取り組む意識の統一</p> <p>栽培、現地研修会の開催（開催月・回数） 5月 1日 育苗巡回 苗の生育および病害虫の発生状況調査</p> <p>6月10日～7月10日 調査ほ場の設置ならびに生育調査（カメムシすくい取り調査も含む）の実施 生育調査は10日ごとに実施し、調査翌日には結果を部会員へ提供</p> <p>7月上旬 穂肥現地検討会の開催 部会員のほ場を巡回し、葉色診断等により食味重視の穂肥を徹底する。</p> <p>7月下旬、8月上旬 カメムシすくい取り調査の実施 すべての部会員のほ場ですくい取り調査を実施。 適正防除の参考とする。</p> <p>9月中旬 適期刈取巡回、適正乾燥調製研修会の開催 積算気温、青朮歩合の推移、枝梗の枯れ上がりにより適期刈取時期を判断する。 セレクション品としての整粒歩合確保に向けた乾燥調製法についての意識統一</p> <p>9月下旬 セレクション候補品目揃い会の実施</p> <p>12月中旬 平成18年度山形セレクション反省検討会の開催 本年度の結果および次年度の取組について検討</p> <p>その他（技術チラシの発行等） ・生育調査ごとに技術対策チラシを発行 ・カメムシすくい取り調査時に結果一覧を部会員へ送付</p>

(2) 流通・販売における優位性の確保と品質管理の体制整備

出荷資材のデザインの統一、優れた品質・機能性等の特徴や食べ方の周知・提案等により、流通・販売段階での優位性の確保に努めていること

項 目	申請者記載欄
<p>流通・販売における優位性確保のため取り組んでいることを記載してください。</p>	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。 (流通・消費ニーズの把握、機能性や食べ方の周知・提案、消費拡大のための取組み、出荷箱や荷姿を統一した販売対策等) 記載がない場合は取組がないものとして審査いたします。</p> <p>消費者ニーズの把握(把握方法・回数) ・首都圏卸業者、小売店との意見交換会 8月中旬, 11月下旬</p> <p>消費拡大のための取組(セレクション品の周知・PR法・回数) ・セレクション品販売キャンペーンの実施 10月下旬</p> <p>セレクション用の出荷形態(一般米用との違い) ・玄米出荷30kg袋にブランドマークを添付 ・今後は精米出荷を予定しており、セレクション用精米袋を作成予定。</p> <p>その他 現地にセレクション取り扱い業者を招き、生産現場を視察してもらうとともに、セレクション品について意見交換を行う 7月下旬</p>
<p>申請品の主要取引(出荷)先と取引形態(契約取引・相対取引等の割合)を記載してください。</p>	<p>主要出荷先(予定) 取引形態(を付けてください。)とその割合</p> <p>高屋 _____ 契約・相対・直売・その他 100%</p> <p>_____ 契約・相対・直売・その他 _____%</p>

徹底した品質管理とクレーム対応のための記録管理や体制整備を行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>収穫・調整(製)、出荷、流通、販売において、鮮度・品質を保つための取組み(記録管理を含む。)を記載してください。</p>	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。</p> <p>品質管理に対する取組 ・部会統一の防除基準(使用農薬等)を作成し、指導の徹底を図る。 ・栽培管理記帳をはじめ、食味分析実施日等の記帳管理を徹底する。 ・適期刈取巡回、適正乾燥調製研修会を開催し、適期・適作業を徹底する。</p> <p>生産・出荷の記帳管理を</p> <p>・している ・していない</p>

クレーム等の処理体制等を記載してください。

生産者（出荷者）名、連絡先等の表示

している していない

表示方法（表示内容・単位について該当項目に を付けてください）

<表示内容> JA等出荷組織名 氏名 生産者コード NO 住所 電話番号
 アドレス（HP・メール） ID番号 その他（ ）

<表示単位> 出荷袋 小売単位 POP表示 その他（ ）

クレーム等処理に対する責任者の配置

している（ 2人：主担当・副担当） していない

クレーム等処理の体制及び発生時の対応を記載してください。

今後の予定も含め記載してください。

記載がない場合は取組がないものとして審査いたします。

精米の販売は行ってないため、生産者からのクレームは直接入ってはこないものの、精米業者・集荷団体からすぐに情報が伝わるような体制を構築している。

これまでのクレーム等への対応の記録 ある ない（今後記録する）

2 安全性・安心感への配慮 安全性に十分配慮した消費者から信頼される商品・サービスの提供

(1) 生産工程等における安全性の確保

やまがた安全・安心取組認証等の認証を受けるなど、生産・出荷工程において農薬等の適正使用、栽培履歴の記帳、残留農薬検査の実施等の安全性確保の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>申請品の安全性確保のためどのような取組みを行っていますか。各種認証制度による認証を受けている場合は、認証制度名等を記載してください。</p>	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください 記載がない場合は取組がないものとして審査いたします。</p> <p>認証制度名 山形マイルド栽培米認証</p> <p>認証番号</p> <p>安全性確保のための具体的な取組 ・JAの分析センターで残留農薬分析を実施する。</p> <p>物理的防除法、耕種的防除法の取組 ・導入している（導入内容 温湯浸法、アイガモ除草） ・導入していない</p> <p>有機・特裁・エコファーマーは5(1)に記載してください。</p>
<p>申請品の生産に係る肥料（土づくり肥料を含む）や各種資材について記載してください。</p>	<p>使用している肥料、各種資材の商品名や成分等が ・すべて明らか・一部資材は不明・ほとんど不明</p> <p>生産工程管理表への資材名等の記載 有 ・無</p>
<p>農薬等の飛散等による申請農産物および周辺農作物等への影響防止に向けた取組みを記載してください（ポジティブリストへの対応）。</p>	<p>認定申請品への飛散防止策 ・講じている・講じていない・今後講ずる（ 月頃から）</p> <p>周辺農作物への飛散防止の取組み ・行っている・行っていない・今後行う（ 月頃から）</p> <p>上記について具体的な取組（取組予定）内容 無人ヘリ・ピーグルによる防除、飛散防止研修会、チラシの発行、周辺栽培者との情報交換等を記載。 記載がない場合は取組がないものとして審査いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬飛散防止研修会の開催 4月 日 ・農薬飛散防止チラシの発行 4月、5月、6月、7月、8月 ・有人ヘリ防除から無人ヘリ防除への切り替え（平成19年度完全移行予定）

(2) 消費者との交流等による信頼性の確保

消費者との交流や生産者の顔が見える販売、トレーサビリティ・システムの導入等、
消費者の安心感・信頼性を確保する取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
トレーサビリティ・システムの導入等、消費者や流通関係者への生産情報の開示・提供の取組みについて記載してください。	<p>流通過程における問い合わせに対し生産情報の開示が</p> <p>・いつでも可能である・出荷直前には可能である・多少時間が必要</p> <p>生産情報の開示・提供の方法</p> <p>・QRコードによる生産情報の遡及システム</p> <p>IT活用による情報公開可能なトレーサビリティ・システムを</p> <p>導入している・導入していない・導入予定(年 月頃)</p>
消費者や小売店との交流や生産者の顔が見える販売の工夫をしている場合は、その概要を記載してください。	<p>記載がない場合は取組がないものとして審査いたします。</p> <p>消費者交流会の開催(開催月・回数)</p> <p>・生産現場視察、農業体験の開催 7月</p> <p>・販売キャンペーン(店頭)の実施 11月</p> <p>消費地、小売店でのPRの実施(開催月・回数)</p> <p>・販売キャンペーン(店頭)の実施 11月</p> <p>その他</p> <p>・販売店頭におけるPOP表示</p>

3 山形の自然、歴史・文化の継承 山形特有の地域資源を活かした商品・サービスの提供

(1) 地域資源の活用

地域の自然、歴史・文化・地域づくりとの関わりや産地形成に至る歴史・物語等について、生産・流通・販売において活かす取組みを行っていること

項目	申請者記載欄
地域の自然、歴史・文化・地域づくりとの関わりや産地形成に至る歴史・物語等について、生産・流通・販売においてどのように活かしているか具体的に記載してください。	<p>自由に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 当組織および生産物（米など）のPRリーフレット等様々な情報提供の媒体の中で、自然や立地条件、栽培に関する歴史を紹介している。 今後は当組織のホームページを立ち上げ、その中で地域の紹介（自然文化等）を予定している。
水田農業ビジョンや地域農業振興における位置づけ、市町村等との連携、産地・地域として今後の振興方策、後継者（担い手）の育成・確保方策等について記載してください。	<p>記載がない場合は取組がないものとして審査いたします。</p> <p>産地づくりの取組（ビジョンや地域農業振興方策等と関連させて記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> 当組織は水田農業ビジョンの担い手として位置づけられており、今回のセレクション認定を契機に市および農協等関係機関と連携し、地域産米のブランド化を図る。 <p>担い手の育成・確保（ビジョンや地域農業振興方策等と関連させて記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域担い手、後継者等を対象に当組織への加入を呼びかける座談会を開催する（2月予定）

地域に自然・歴史・文化の紹介をどのような方法で行っているか具体的に記載（自然・歴史等の紹介を記載する欄ではありません）

4 山形の技術・技法の伝承 伝統的な技術・技法に裏打ちされた商品・サービスの提供

(1) 立地条件に適した技術・技法の維持向上

地域の自然条件を活かした独自の栽培方法の採用や立地条件に適した生産技術の導入等、産地の形成及び拡大に向けた技術・技法の維持向上、普及の取組みを行っていること

項目	申請者記載欄
申請品の生産・流通・販売において、自然環境や栽培地の地理的条件をどのように活用しているか記載してください。	<p>自由に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 当組織におけるセレクション品栽培地は、平坦部～中山間部にまたがっており、清流「川」を利用している。
技術の維持向上、高品質生産のための技術開発・普及への取組みについて、自主的なほ場格付や良質米品評会等も含めその概要を記載してください。	<p>記載がない場合は取組がないものとして審査いたします。</p> <p>取組内容（開催月・回数）</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培、現地研修会の開催（開催月・回数） 5月 1日 育苗巡回 苗の生育および病害虫の発生状況調査 6月10日～7月10日 調査ほ場の設置ならびに生育調査（カメムシすくい取り調査も含む）の実施 生育調査は10日ごとに実施し、調査翌日には結果を部会員へ提供

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月上旬 穂肥現地検討会の開催 部会員のほ場を巡回し、葉色診断等により食味重視の穂肥を徹底する。 ・ 7月下旬、8月上旬 カメムシすくい取り調査の実施 すべての部会員のほ場ですくい取り調査を実施。 適正防除の参考とする。 ・ 9月中旬 適期刈取巡回、適正乾燥調製研修会の開催 積算気温、青朮歩合の推移、枝梗の枯れ上がりにより適期刈取時期を判断する。 セレクション品としての整粒歩合確保に向けた乾燥調製法についての意識統一 ・ 9月下旬 セレクション候補品目揃い会の実施 ・ 12月中旬 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成18年度山形セレクション反省検討会の開催 本年度の結果および次年度の取組について検討 ・ 食味分析による組織独自の産米品評会の実施
<p>栄養価を高める等農産物の特性を發揮させるための栽培管理面等での工夫を記載してください。</p>	<p>自由に記載してください。 粗玄米においても高い品質を有し、食味も良好な米を生産するために、県で作成した「気象変動に対応した特A米栽培ごよみ」に沿った栽培を実践している。</p>

5 環境への配慮 山形の自然・大地に対する感謝と敬意を払った商品・サービスの提供

(1) 環境に配慮した生産方式の導入

有機栽培、特別栽培、エコファーマー等、環境に配慮した生産方式や、耕畜連携による土づくりなどの取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>有機栽培、特別栽培、エコファーマー等の認証を受けている場合は、認証制度名等を記載してください。</p>	<p>認証制度名(対象品目) 山形県特別栽培農産物認証(米)</p> <p>認証番号 山形認証(生産) H18-</p> <p>今後認証を受けようとしている認証制度と予定時期</p> <p>認証制度名(対象品目・認証機関名)</p> <p>申請予定時期 年 月</p>
<p>化学農薬、化学肥料低減への取組みを記載してください。</p>	<p>減化学農薬 ・<u>行っている</u>(5割削減) ・行っていない</p> <p>減化学肥料 ・<u>行っている</u>(5割削減) ・行っていない</p>
<p>有機物投入等による土づくりと、土壌診断や植物体分析、効率的な施肥技術による施肥の適正化について記載してください。</p>	<p>土づくりの取組み概要(有機物等の種類・年間投入量、耕畜連携の状況等)</p> <p>・牛糞堆肥 1 t / 10a 施用を基本に、農業技術普及課の分析により施用量を調整。</p> <p>診断の種類と概要、結果の活用方法</p> <p>・土づくり研修会の開催 (2月、農業技術普及課における土壌分析結果の検討)</p> <p>効率的な施肥技術の概要</p> <p>・土壌分析に基づく施肥設計の作成 (セレクション生産対象ほ場は必須条件)</p>
<p>肥料や堆肥等有機物の安全性等に配慮していますか。</p>	<p>・<u>配慮している</u> ・配慮していない</p>

実施していない場合は空欄とすること。

生産資材、残渣、種子消毒等防除時の排液（廃液）の適正処理、リサイクル等の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
農産物残渣や農業用廃プラスチック、使用済み農薬、肥料の容器等生産に係る資材の廃棄・リサイクル処理方法について記載してください。	<p>農産物残渣の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲わらは全量ほ場に還元 ・ 籾殻はくん炭として活用 <p>資材の廃棄・リサイクル処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育苗時のビニールや畦畔シート等の使用済みプラスチックは分別を徹底し、農協が行う回収で適正に処理している。

6 その他

(1) 申請品に対する想い（農産物の特徴、栽培面でのこだわり等）を記載してください。

食味分析（玄米タンパク、アミロース）以外の項目（例えば白度や千粒重など）を目標値として設置しているなど記載してください。

・ セレクション品の品質基準の他に、「玄米白度20以上、千粒重22.5g以上」を組織独自の目標値として設定している。

・ セレクション品以外の栽培においても、県で作成した「気象変動に対応した特A米栽培ごよみ」に沿った米作りを徹底している。

(2) 申請品が山形セレクションに認定された場合、認定品の流通・販売計画（出荷・販売先、認定マークの小売段階までの表示方法、価格設定（交渉）の方法、有利販売に向けたPR方法等）を記載してください。（記載欄が不足する場合は、別葉に記載してください。）

セレクション品の流通・販売計画

- ・ 契約栽培による販売するものであり、出荷時期・出荷数量は取引先と打合せ済み
- ・ 店頭販売時には、ブランドマークを精米袋に添付する予定。

セレクション品としての表示、PR方法

- ・ 玄米袋（30kg）にブランドマークを添付して出荷。
- ・ 店頭販売時には、ブランドマークを精米袋に添付する予定。

価格設定の方法

- ・ 特別栽培加算に加え、セレクション品としての加算を検討している。

7 添付資料

下記のうち「 」を付したものは必ず、「 」を付したものは認証を受けている場合や実施している場合に添付してください。

総会資料等事業・活動記録（組織・部会・法人等の活動がわかるもの）

生産工程管理表（生産工程の作業内容、使用種苗・資材、使用機械・器具、及び肥料・農薬名等が記録されているもの）

出荷規格表等（出荷物を厳選していること、申請品が最上位品であることがわかるもの）

実際に使用している独自のマーク・シール及び包装資材等（写真等でも可）

各種制度等の認定証

これまでに実施した土壌診断・植物体分析等の結果

これまでに実施した残留農薬分析結果

申請品の概要がわかる写真・パンフレット（イメージイラストでも可）等

その他申請に当たり必要と思われるもの